

bookuma

上手に冊子デザインを行うために

1 便利な操作マニュアルをダウンロードしよう



ソフト起動後に表示される「操作マニュアル」をクリックすると、ブラウザが開き「bookumaPDF 操作マニュアル」をダウンロードできます。ソフトの操作方法などで困った際は、ぜひご活用ください。またホームページの「本の作り方」でも操作方法の詳細をご説明しています。

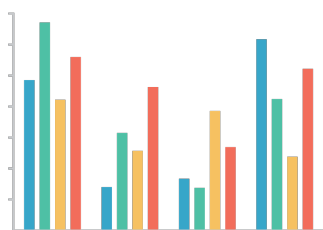
2 こんなときはどうするの？



レイアウトを
変更したり
ゼロから作ったり
したい！

お気に入りのテンプレートを選んだ後に、レイアウト変更したい点がある場合、「テンプレ編集」機能を使用すれば、写真枠やテキスト枠の位置など、すべてのレイアウトデザインは自由に変更できます。

また、「フリースタイル」テンプレートを使用して、同じく「テンプレ編集」機能でゼロから「オリジナルレイアウトデザイン」を作ることも可能です。



bookuma で
作れない「図形・
表・グラフ」を
使いたい

bookuma では作成できない「表・グラフ・図形」などのデザインが必要なとき、その部分は、エクセル・パワポなど別ソフトで作成し、データは、jpeg（又はpng24、png32）にして、bookuma でご利用してください。

なお、画像内の文字は印刷画質が落ちるため、7pt 以下の小さい文字、細すぎる罫線の使用は避け、印刷画質（画像解像度 300 dpi）は、お手元のプリンターで確認してください。



bookuma の
デザイン作業を
複数メンバーで
行いたい

複数メンバーでデザイン作業を行う方法は、2種類。1つ目は、リレー方式でデータをメンバーからメンバーへ渡して作業を行う方法。この場合、メニューバー「ヘルプ」内の「別 PC への移行用データ作成」をご利用ください。2つ目は、同時に複数メンバーで、作業を行い、後でデータ統合を行う方法。この場合、bookuma 起動時の「データ統合機能」をご利用ください。「データ統合機能」は、ご利用前に統合ルール詳細をご確認ください。



きれいな印刷に
必要な画像
サイズを
詳しく知りたい

bookuma で使用できるデータは、jpeg と png（png-8 は除く）。きれいな印刷に必要な画像サイズは、以下の通りです。

- ・ A4 見開き 3579 × 5043px 以上
- ・ A4 1P 3579 × 2552px 以上、
- ・ A4 1/2 1790 × 2552px 以上

グレー色の画像配置スペースにカーソルをオンマウスすると必要な画像サイズがツールチップで表示されます。

おすすめのデザイン手順

1. ダミー画像などで、テストデザインを作成

冊子デザインのおおよそのイメージを探るために、ダミー画像でよいので、画像を bookuma に取り込み、表紙などのデザイン作成を試してみましょう。テンプレートも軽くチェックします。

2. 冊子ページ数を決め、テンプレートを選ぶ

中綴じ冊子の場合、総ページ数は必ず4の倍数。企画内容に合わせて、冊子の総ページ数を決めます。ページ数が決まりましたら、次に企画に合わせてテンプレートを選びます。

3. 必要な画像素材集めや撮影・取材を行う

テンプレートの画像ボックスで「印刷に適した画像の大きさ」・「おおよその画像の縦横比」を確認して、必要な画像素材を集めましょう。また取材前には、必要な文章量を事前確認します。

4. 画像をソフトに取り込み、ページに配置する

集めた画像素材をソフトに取り込み、テンプレート内のイメージボックスに配置します。画像の縦横比率などに応じて、必要なら「テンプレ編集」でレイアウトを調整していきます。

5. 文章をワープロソフトで書き、流し込む

bookuma でも文章入力・編集は可能ですが、文章量を事前に確認して、執筆はワープロソフトで行うのがお勧めです。文章完成後に bookuma にコピー＆ペーストで流し込むと作業効率が◎。

6. デザイン完成後、校正・印刷注文を行う

デザインが完成したら、お手元のプリンターで印刷を行い、PDF デザインを確認の上、固有名詞・住所電話番号などについて複数人で校正作業を行ってください。その後、データアップロード・印刷の注文作業に進んでください。

こんなことで困ったら？

操作方法やデザインなどについて いろいろ教えてほしい

HoLabo では、「出張操作説明（東京近郊の法人様対象）」・「WEB 会議での操作説明（全国の法人様対象）」を行っています。100 部以上ご注文予定の場合、原則無料です（有料対応も行っています）。HP で詳細をご覧くださいの上、お気軽にお問い合わせください。

社内報・広報誌を成功させる コツを教えてほしい

弊社は、社内報・広報誌・フリーペーパーなどには豊富な編集経験を持つスタッフがいます。「社内報を成功させたいのだが、他社事例について教えてほしい」・「地域フリーペーパーのコンセプトを相談したい」などあれば、無料で相談可能です。お気軽にお問い合わせを。

作成データのエラー・異常に ついて調べて教えてほしい

デザイン作成中にエラーが頻発したり、印刷の PDF の表示に作業画面と異なる部分があったりする場合、パソコン環境に適合していなかったり、データ異常が起きている場合があります。そのような場合、調査を行い、修正対応をします。お気軽にお問い合わせください。

印刷用紙を変更したい、発送日を 早めたいなどのご相談

「印刷用紙を既定紙以外に変更したい」、「注文後の商品発送日を6営業日より早めたい」、「表紙にPP加工をしたい」・「判型を変更したい」・「平綴じにしたい」などの場合、別途お見積りのうえ、対応が可能です。まずは、お早めにご希望の内容をお知らせください。

お問い合わせは、ホームページ「お問い合わせ」、又は 03-6313-6929 までお気軽に！

デザイン初心者の時短デザインのコツ

デザイン初心者の方へ。デザイン制作をする際は、「テンプレートを極力活用」すれば、作業時間を大幅に短縮できます。たとえば、テンプレートを極力活用した冊子デザイン制作の作業量を「1」とすると、ゼロからレイアウトデザインした場合の作業量は、普通「10」以上です。bookuma で自由にレイアウトデザインを作成するのは、ある程度デザイン作業になれてからのほうがおすすめです。以下に、テンプレートを上手に活用するコツをご紹介します。

1. 企画段階から「テンプレートを選ぶ」

雑誌編集者などは、企画にあわせてラフデザインを描き、そのラフデザインに沿うように撮影・取材・執筆を進め、作業効率化を図っています。同様に、初めて bookuma を使用するユーザーの皆さんにも冊子企画段階から、「この企画には bookuma のこのテンプレートを活用する」というのを極力決めておくことをおすすめしています。テンプレートのレイアウトを変更が少なくなればなるほど、デザイン制作時間は大幅に短縮されます。bookuma でのデザイン作業に慣れてきたら、徐々にオリジナルデザインに挑戦する、そんな活用方法がおすすめです。

2. 必要な画像・文章を事前確認する

撮影・取材もテンプレートデザインに合わせて行うのがおすすめです。たとえば画像なら、テンプレート内のイメージボックス（画像枠）の画像点数・画像サイズ・画像縦横比を確認して、それに合わせて撮影を行う。すると、デザイン段階で画像がテンプレートにきれいに合います。

文章についてもテキストボックス（文章枠）の文字数を $25W \times 40 \text{ 行} = 1000W$ というようにきっちり把握して、それに合わせて取材・執筆をすれば、後から文字数調整の必要が起きません。

たとえば、社内報で「社員の自己紹介文を社員自身に提供してもらう場合」も「100W の自己紹介文を提出して！」と伝えるのではなく「 $25W \times 4 \text{ 行} = 100W$ 」の自己紹介文を提出してと伝える、そんなひと工夫で冊子デザイン制作はグンと楽になりますよ。

画像サイズなどの 情報確認方法

イメージボックスにカーソルをオンマウスすると、画像の詳細情報が表示されます（ $1000 \times 750\text{px}$ など）。画像サイズや画像縦横比の参考にしてください。

テキストボックスの 文字数の把握方法

作業画面のテキストボックスに「文字のマス目」・「1行当たりの文字数×行数」が表示されています。また校正印刷用PDFに「文字のマス目」の表示が可能です。

文字数を簡単に 増減する方法

レイアウトを変更しない場合でも、テキストボックスの文字サイズ・行送りなどを変更することによって、ある程度、文章数を変更することが可能です。

弊社では、冊子制作成功の秘訣は「読みやすく」・「見やすく」・「わかりやすく」だと思っています。デザイン作業に時間をかけすぎるなら、読者へ提供する情報量を増やしたりするほうが、おすすめです。また、たとえば社内報などでは、デザイン作業負担が大きすぎると、刊行が続かなくなるケースも見受けられます。デザインは頑張りすぎないを合言葉に！